



同窓会報

第 3 号

平成11年度総会・懇親会のお知らせ

日時 5月23日（日）午前11時受付
場所 千葉京成ホテル Tel: 043-222-2111
（京成線千葉中央駅下車すぐ）
会費 5,000円
懇親会出演者 大川義行氏（昭和42年3月卒業）
劇団ルネッサンス主宰

総会終了後、引き続いて懇親会を開きます。
卒業生はどなたでも出席できます。恩師の先生にお目にかかるチャンスもありますので、お誘い合わせの上、ご来場下さい。
申込みは、5月15日までに同窓会事務局へ。

「シャロンの花」は、校歌の歌い出します。昭和26年、創立10周年記念に制定されました。当時教頭でいらした沢田繁二先生作詞のこの校歌は、他校にはない美しい響きを持つ詩で綴られています。同窓会報を創刊するにあたり、懐かしい言葉「シャロンの花」をタイトルに致しました。

シャロンは、イスラエル西部の地名です。その地に咲く白い可憐なシャロンの花は、旧約聖書で純潔の象徴とされています。

平成11年3月10日発行

（表紙タイトル・イラストデザイン 昭和35年卒 北川広志）

発行者

千葉県立千葉東高等学校
同窓会会长 井戸川 浩

編集部

千葉県立千葉東高等学校同窓会事務局内
〒263-0021 千葉市稻毛区轟町1-18-52
TEL 043-251-9221 FAX 043-255-6575

印刷所 ㈲宮坂印刷 TEL 043-251-4537 FAX 043-251-4535



同窓会報「シャロンの花」 第3号発刊ご挨拶

千葉県立千葉東高等学校同窓会会長

井戸川 浩

同窓生の皆様、お元気にお過ごしでしょうか？同窓会報「シャロンの花」第3号をお届けいたします。

3年前に第1号を発刊以来、多くの温かい励ましのお便りや基金へのご協賛をいただきました。

さすが県下有数の名門校を支える同窓生の皆様だけに、母校を思う気持ちは一層強いものがあり、毎年この会報の到着を心待ちにしていただいているそうでございます。

この会報は、一般卒業生からは見えにくかった同窓会そのものの活動が良く見えるようにするとと

もに、学校の先生や生徒の現状、卒業生の動向などの情報を、卒業生はもとより在校生、PTA、教職員等関係者全員で共有することで、一層の母校の発展を期したいという悲願の現れの結実でもありますので、いつまでも可愛がっていただきたいと思います。

また母校「創立60周年記念事業基金」ならびにもっと同窓会活動を活性化し支援するための「同窓会活動維持基金」にも多くの卒業生の皆様からのご寄付をいただきました。この場をかりて厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

今回も、「同窓会活動維持基金」から23,000名の皆様全員に会報第3号をお送りすることができました。

発刊にあたり、学校当局はじめ忙しい日常の合間を縫ってご協力いただいた役員、OB各位にも厚くお礼申し上げます。

役員や編集委員は全てボランティアでございますので、熱意は旺盛だが、時間のやりくりに苦労し、思うようにスピードアップできない悩みを抱えつつ制作しているというのが実状でございます。

こうした同窓会活動に一人でも多くの方がご参加いただき、お手伝いいただければ大変ありがたいと思っております。

今後とも卒業生の皆さんとの物心両面にわたるご協力を得て、紙面の充実を図っていきたいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。



これからの高校教育は

同窓会名誉会長（校長）

長妻 孝治

平成14年度から学校完全5日制が実施されます。

近々、高校の指導基準である新しい学習指導要領が発表され、これに基づいて、各高校では、自校の特色に適う教育過程を編成し、平成15年より実施することになっています。

新しい教育過程の編成にあたり、同窓生が本校で受けた高校教育とは、大部改まった内容となることが予想されます。

現在は少子化により中学校卒業者が減少しており、高校への進学率が96%をこえ、中学校卒業者のほとんどが高校に入学するという

状況にあります。

高校は選ばれた者に対する教育ではなく、国民的教育機関としての役割を果たさなければならないのです。

今後の高校教育を見るとき、週5日制実施に伴う週当たりの授業時数の減少等により、卒業までの修得単位数が現行80単位から74単位に減少します。また、必修単位は、現行の38単位から31単位となる等、同窓生の皆さんが高校時代に修得した単位数より大きな減少が見られます。そのほか、新しく学習しなければならない教科・科目が新設され、教育内容も大きく

変わることになります。

現在の本校の生徒には、まだ選ばれた者としての高校教育を実施しなければなりません。新しい指導要領の内容を踏まえながら、何如に21世紀をリーダーとして活躍できる真に実力ある人材を育てるか、を考慮した教育課程の編成に取り組まねばならないと考えています。

また、学力の面ばかりでなく人間的な成長を図ることも重要です。正義感、倫理観や思いやりの心など豊かな人間性を培うにはどうすればよいか等も考慮し、両面を兼ね備えた卒業生として本校から巣立っていくよう努めようと考えます。同窓生の皆さんに外から見てのアドバイスをお願い致します。

※ 長妻名誉会長は、平成10年度教育功労者表彰及び千葉県産業教育功労者表彰を受けられました。

平成10年度千葉県立千葉東高等学校同窓会総会報告

薰風香る5月24日(日)
千葉京成ホテルにおいて、
平成10年度同窓会総会が開催されました。

井戸川会長、長妻名誉会長の挨拶に続いて、来賓の先生方のご紹介とご挨拶、卒業生の母校職員紹介がありました。議長選出後、9年度の事業報告、決算報告、監査報告と続き、10年度の事業計画案、予算案の審議が行われ、すべて拍手多数で承認されました。引き続いだり、会則改正、役員改選が行われ、役員会の原案に添って承認されました。

総会終了後は懇親会となり、余興に本校昭和57年3月卒業のフルート奏者丸山房子さんとマリンバ奏者市



川理津子さんをお迎えし、美しい優しい調べに耳を傾けました。丸山さんは武蔵野音大卒業後、スイス留学。国内外でリサイタルを行い、活躍されています。演奏終了後、同級生や恩師の先生方と楽しい会話が続いていました。



平成9年度千葉東高等学校 同窓会費決算書

総収入	3,383,072
総支出	2,441,121
残 高	941,951…次年度へ繰越
収入の部	
項目	(単位:円)
1.会 費	1,707,000
2.入 会 金	284,500
3.繰 越 金	1,134,663
4.雑 収 入	256,909
計	3,383,072
支出の部	
項目	支 出 額
1.運 営 費	1,522,371
(1)会 議 費	163,225
(2)総 会 費	436,075
(3)通 信 費	171,890
(4)慶弔 費	660,001
(5)旅 費	0
(6)雑 費	121,180
2.事 業 費	462,000
3.予 備 費	0
4.基 金 繰 入 金	426,750
計	2,441,121

基金繰入金会計

(定期預金)

平成9年度 累計 ¥9,769,154

(単位:円)

摘要	収 入	支 出
前年度より 繰 越	11,819,440	
利 息 (定期預金分)	20,115	
平成9年度分 基金繰入金	426,750	
「シャロンの花 第1号郵送料		2,497,151
計	12,266,305	2,497,151

会計監査報告

平成9年度同窓会会計の出納簿、証拠書類および預金通帳等を詳細に検査した結果、処理が正確であり異状ないことを認めたので、ここに報告します。

平成10年5月24日

千葉県立千葉東高等学校同窓会
会計監査 石井洋子印
澤田繁信印

平成10年度千葉東高等学校 同窓会費予算書

収入の部

(単位:円)

項 目	予 算 額
1.会 費	1,719,000
2.入 会 金	286,500
3.繰 越 金	941,951
4.雑 収 入	10,000
計	2,957,451

支出の部

項 目	予 算 額
1.運 営 費	1,650,000
(1)会 議 費	200,000
(2)総 会 費	400,000
(3)通 信 費	200,000
(4)慶弔 費	700,000
(5)旅 費	20,000
(6)雑 費	130,000
2.事 業 費	1,000,000
3.予 備 費	307,451
計	2,957,451

東雲祭を見学して

晴天の日曜日、母校の文化祭を覗きに行く。西千葉駅から学校に向かって、中学生らしい男の子と父親が歩いている。校門に入るのを確認。遠い昔には、このような中学生とその親の見学を見かけることはなかった。

さて、正門に東雲祭の看板がある。有志の手作りだそうだが、立派なものだ。また、プログラムはパソコンで作られたもので、見取図その他も見やすく、初めて校内に足を踏み入れても大丈夫だ。迷わず目的の教



校門にあった看板

室に着けると思う。2年生の島田諭君がボランティアで作成してくれたそうだ。

校内に入ると、色とりどりのTシャツに目が奪われる。クラスごとに作成したらしく、クラス名の他にいろいろとデザインを工夫したらしい。制服姿よりTシャツ姿の生徒の方が多い。これにも時代を感じてしまう。

文化祭ポスターも例年どおり美術部の力作で、校内のあちこちに貼ってある。夏休みに準備したとのことである。

劇団体が多いというのが、最近の東高の伝統らしい。27クラスのうち14クラスが劇を行っているが、すべてを見るのは不可能なので、高一の時の同級生が担任しているクラスを見学。狭い教室を上手に仕切っており、

母校は

《部活動等の記録から》

全日制

〈山岳部〉

全国高校総体登山大会 男子団体の部 7位
19年ぶり5回目の出場（高知県三嶺山系）
同窓会活動維持基金より60万円を装備のために補助しました。（採点10項目中、装備の点は満点）

〈ラグビー部〉

千葉県予選決勝トーナメント準優勝

〈音楽部〉

- ・NHK全国学校音楽コンクール
関東甲信越大会奨励賞

- ・全日本合唱コンクール

関東大会銅賞

〈学校新聞〉

千葉日報社主催第7回ワープロ・パソコン学校新聞コンクール高校の部金賞（第2学年新聞が受賞）

〈読書感想文〉

第44回青少年読書感想文千葉県コンクール

優良賞 1年 長尾純美

〈書き初め展〉

第51回千葉県小中高校書き初め展

千葉県知事賞 2年 笹本美香

通信制

〈98年度全国定通体育大会〉

- ・陸上競技 早川幸子 砲丸投げ 4m99cm
後藤清治 5,000m 21分25秒5
- ・ソフトテニス男子
団体戦（千葉県チームに行木・松村組出場）
1回戦 千葉県 1-2 和歌山県
個人戦 行木・松村 1回戦敗退（対広島西）
市原・川野 2回戦敗退（対愛知東海工）
- ・卓球女子 二宮 栄子 1回戦敗退
湯浅友紀子 2回戦敗退



生徒の設計・製作による「ししおどし」

場面の変化も小道具を使い、それなりの雰囲気が出ている。締切りの部屋なので、入口で手製のウチワを配っていたが、中は本当に暑い。

廊下を歩くと、上演案内のチラシを配っているクラスもある。階段のステップにも案内が貼ってある。それぞれの団体で客引きの為の知恵を出し合ったようだ。

縁日や食べ物屋さんも結構人が入っており、行列のできている店もある。食べ物に係る生徒は腸内検査を行い、養護や家庭科の先生の監督の下に調理をしていた。

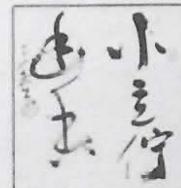
音楽関係のステージも盛り上がっていた。音楽部、吹奏楽部、マンドリン楽部、フォークソング同好会の他に有志によるバンド演奏もあった。

それぞれよくやっているなと感心したが、もの足りなさも感じた。それは、文化祭の部・同好会による展示、発表はいくつかあったが、研究発表や問題提起し、調査研究したという形のものがなかったことだ。遠い昔の文化祭の面影はなく、お祭り気分だけが目立ってしまったようだ。さらに、東雲祭の目玉だった演劇部の公演や話術研究部による寄席がなくなっていたのは、とても悲しかった。

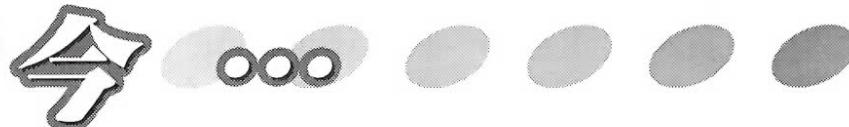
ただ、教職員による書の展示は良い企画だと思うので、もっとアピールしても良いと思う。生徒だけでなく、先生方も共に文化祭に参加できると楽しいだろう。

同窓生の皆さんも母校に足を向ける絶好のチャンスです。この秋には「東雲祭」に出かけてみませんか？

(記：石井ゆかり・昭和51年3月卒)



宮負先生書



《進路集会》

全日制では、11月10日第1学年対象の職業研究のための進路集会を同窓会協力の下に開催致しました。様々な職に就いておられる5人の先輩から直接話を聞けました。

通信制では、5月24日、3・4組対象に進路に対する意識の向上を目的として説明会を開催致しました。

《国際交流プログラム》

今年は東高が姉妹校交流を始めて25年目になります。今年度は夏に豪州へ、春に米国へ派遣となりました。

<豪州派遣>

留学期間：平成10年7月27日～8月19日

派遣人員：女子16名

引率教諭：大谷芳孝、鈴木宏（共に地歴科）

派遣校：ヴィンセンティア・ハイスクール
(NSW州シドニー郊外)

<米国派遣>

留学期間：平成11年2月27日～3月24日

派遣人員：女子10名

引率教諭：布施明人（英語科）

派遣校：メアリーマウント・スクール
(NY州ニューヨーク市)

156名出席し、講師として先輩10名が参加して下さいました。

全日制・通信制共に教師生徒側の反応もよく、次年度多くの卒業生のご協力を得て続けていければ良いと考えております。

《定期演奏会のお知らせ》

音楽部

平成11年3月30日(火)

千葉県文化会館大ホール（顧問：小川教諭）

吹奏楽部

平成11年5月2日(日)

千葉市民会館大ホール（顧問：上野教諭）

マンドリン楽部

平成11年6月17日(日)

千葉市民会館大ホール（顧問：曾野教諭）

生徒たちの励みになりますので、多くの同窓生の皆さんのご来場をお待ちしております。

詳しくは、各部顧問教諭にお問い合わせ下さい。

時を越えて



たつみ会（高女一回生）古稀記念同期会報告

日 時：1998年7月5日（日）

場 所：ホテルスプリングス幕張

参加者：49名（卒業生218名）

辰年巳年生まれの高女一回生の皆さんに古稀を迎える記念同期会を催し、同窓会長が招待されました。東高の始まりを担った大先輩の集まりを取材させていただきました。

県外からも出席された方々もあり、遠く四国から出席された方もいました。

○高女2回生同期会（昭和21年3月卒）

1998年6月28日（日）

於 ホテルオークラレストラン千葉

30名参加（毎年開催）

○第9期卒業生第4回同期会（昭和32年3月卒）

1998年10月24日（日）

於 ほてい家

79名参加

○第21期卒業生同期会（昭和44年3月卒）

1998年6月27日（土）

於 ペリエホール

190名参加（30年ぶりの同期会）

○昭和49年度2年6組クラス会

1998年10月17日（日）

於 欧風料理ロゼリアン（センシティタワー22F）

26名参加（20年ぶりのクラス会）

戦中、戦後いろいろなご苦労をされたと思います。当時は小学校を卒業し、高等女学校を4年で卒業。現在の高一の年令で、それぞれ進学、就職、家事見習いと進路を決めた訳です。戦争中で学徒動員され、満足な勉強もできなかった時代。今の恵まれた高校生では考えられない程の大変な時期を過ごされた先輩達です。

当時の校訓は、「明朗」「真剣」「練磨」だったそうです。東高の初めの一歩は、勇気・努力・実践を教えられた誇り高き「市立魂」を持った218名の女性達から始まりました。この東高の歴史をふり返って思うとき、先輩方の顔に刻み込まれた皺の一つ一つが輝かしいものに見えました。



昭和49年度 2年6組クラス会

OMLシャロン

第2号でご案内しましたが、世代を越えて電子メールでの会話や飲み会など楽しく交流しています。一度アクセスしてみませんか。

お問い合わせは、kurihara@first.tsukuba.ac.jp
管理者・栗原正幸までどうぞ。

（編集長よりお詫び：第2号でメールアドレスに間違いがありました。）

インタビュー

千葉東高と私

(3)

郎先生で、男女差別なく、スバルタでユニークな先生でした。クラスが家族的で、先生を囲んでがっちりスクランブルを組んでいるようでした。同級生の島田侑児さんが母校の校長先生になられたときは、クラスメート全員で喜びました。

他に思い出すのは、体育の時間になると「石拾い」をしたことです。とにかく整地作業をすいぶんしたこと覚えています。

進学コースにいましたが、就職の道を選びました。学校推薦で銀行に就職し、20歳で結婚しましたので、高校時代の3年間は青春時代を燃焼させることができ

昭和28年3月に卒業されました宮崎(旧姓宇井)かをるさんの自宅稽古場に伺いました。日本舞踊花園流師範として踊りを続けていらした宮崎さんは、どんな高校生活を送られたのでしょうか。

昭和25年、県立移管と同時に男女共学となり、三高と名称が変わった時に入学されました。昭和25年度新入生は253名で男子は69名入学。全校生徒数612名で、男女共学は3クラスだけでした。

石井：高校入学当時のことで思い出されるることは?

宮崎：実は、私は一高を受験しました。発表を見に行くと「三高へ」となっていて、とてもショックでした。浪人するつもりでしたが、親に説得されてイヤイヤ三高に入学したのです。でも、学校生活がだんだん楽しくなり、一学期の終わり頃には三高に入学して良かったと思うようになりました。

石井：どんな高校生活を送られましたか?

宮崎：思い出すと不思議なのですが、どうしてあれだけ活動する時間があったのか……。演劇部にいて、生徒会の会計もして、学校新聞も作っていて……。学校新聞のことで銚子の高校まで行ったこともありますし、3年間好きなことをしていたようです。

学校全体が燃えていて、皆で力を合わせて学校を作っていくという意識がありました。

1年の時から進学・就職・家庭の3コースに分かれて、私は進学コースで男女共学でした。男子30名女子10名位だったと思います。1・2年の時は女子が強かったですが、3年になると男子が実力を發揮して、成績もどんどん伸びていきました。担任は佐々木鐵太

郎先生で、男女差別なく、スバルタでユニークな先生でした。クラスが家族的で、先生を囲んでがっちりスクランブルを組んでいるようでした。同級生の島田侑児さんが母校の校長先生になられたときは、クラスメート全員で喜びました。

他に思い出すのは、体育の時間になると「石拾い」をしたことです。とにかく整地作業をすいぶんしたこと覚えています。

進学コースにいましたが、就職の道を選びました。学校推薦で銀行に就職し、20歳で結婚しましたので、高校時代の3年間は青春時代を燃焼させることができ

た、素晴らしい充実した時でした。希望して入学した学校ではありませんでしたが、結果的には三高で良かった、本当に楽しかったと思っています。

札幌に嫁いで2年目位、ラジオで千葉の学校紹介を耳にしました。男女共学のモデル校に一高二高三高がなったけれど、成功してお互いを刺激して伸びている学校は三高ですというのを聞いて、とても嬉しかったです。**石井：**日本舞踊との出会いと現在までのお話をお願いします。

宮崎：母が師匠をしていましたので6歳から始め、高校卒業の年に花園若歌として名取になり、母の代稽古を始めました。主人の転勤でいた札幌で10年近く教え、東北各地を移った時は教える立場から離れていましたが、千葉に戻り、師匠として再出発して23年になります。

母が亡くなった時は弘前でしたので、すぐに後を継げなかったのですが、二代目花園桂良の名前をいただき、今は週2回お家元から直接稽古をつけていただき、週4回お弟子さん達に教えています。

この年令になっても踊りが楽しく、教えていただく喜びがあり、稽古するたびに感激できることがうれしいです。

50年近く踊りを続けていらした宮崎さんのお話は、高校時代のこととも日本舞踊のことも楽しいもので、限られた紙面ではお伝えできることばかりです。

妹の弘子さんも東高の卒業生で、熟年のテニス大会で全国連覇され、活躍中とのことです。

お話を伺い、先輩方が誇りを持って語ることのできる東高を私達後輩が汚さないよう、伝統を受けついでいく義務があると感じました。(聞き手：編集長)

☆お知らせ

第2号のこの欄でご紹介した宮崎和雄さんの小説「洗濯機は俺にまかせろ」が映画化され、ゴールデンウィークにBox東中野(Tel. 03-5389-6780)で公開されます。



